

approach 1964 2012 2000

2013年4月5日金 → 5月15日水 竹中工務店 大阪本店1Fロビー

●開館時間—9:00→17:30

●休館日—土・日・祝日

●入場無料

●主催——株式会社 竹中工務店

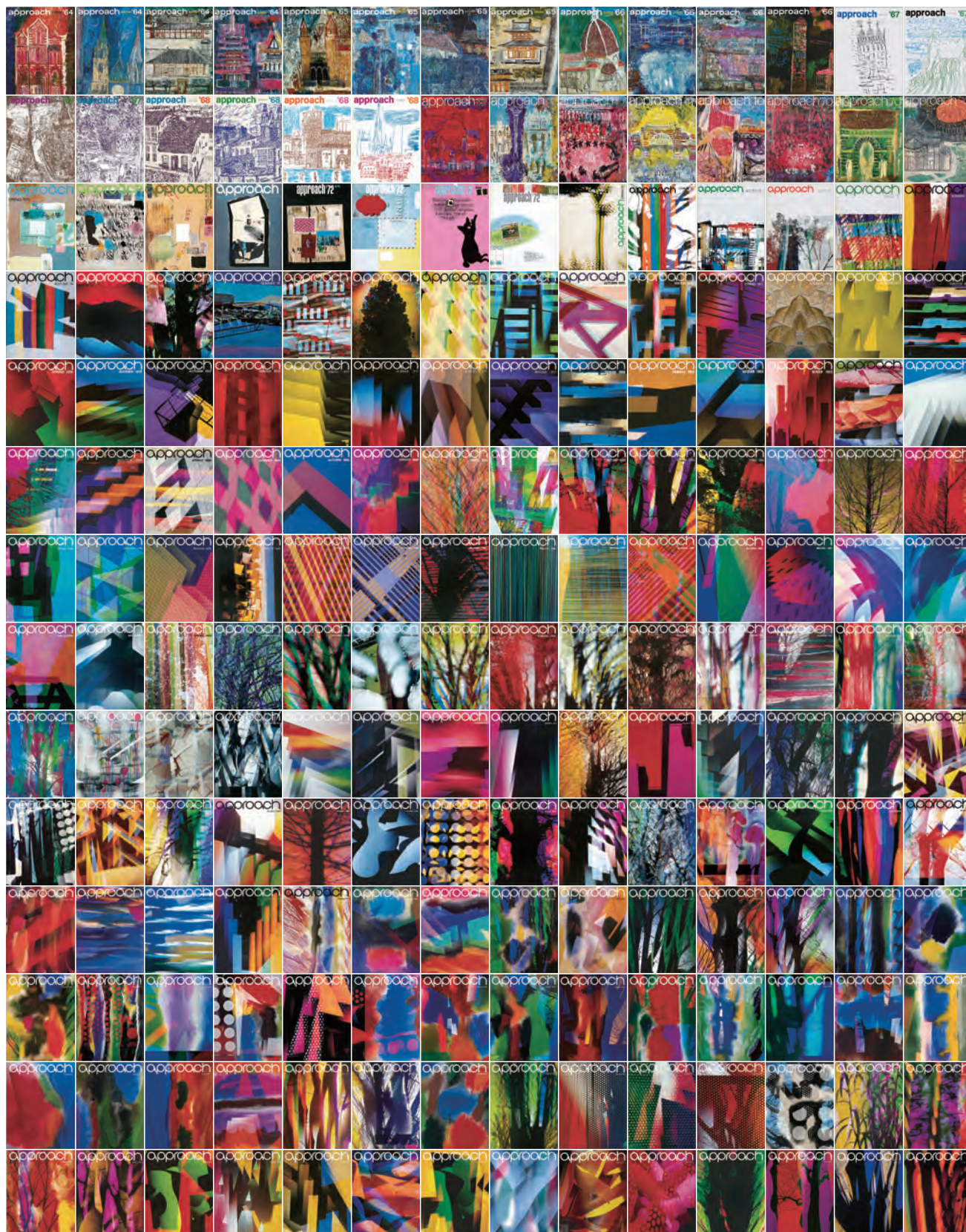
●企画——公益財団法人 ギャラリーエークワッド

●協力——大日本印刷株式会社 株式会社コスモ・ピーアール 太田徹也デザイン室

●お問い合わせ—ギャラリーエークワッド事務局 Tel.03-6660-6011 Fax.03-6660-6097



GALLERY A4



Cover Art: Kazutsugu Iijima, Ryuichi Yamashiro Cover Photo: Yasuhiro Ishimoto

approach 1964 2012 200



Cover Art
by Kazutsugu Iijima



Cover Art
by Ryuichi Yamashiro



アプローチ展開催にあたって

竹中工務店の季刊誌『approach』が発刊されたのは、1964年(昭和39年)4月。Spring(春)号が第一号となりました。同年10月に、戦後復興のシンボルとして東京オリンピックが開催されています。この年は焼け野原になった日本が20年足らずで国際イベントを開催できる経済力や組織力を回復したことを国際社会に高らかに宣言した年でもあります。

創刊号の1ページ目には、写真家石元泰博氏による「桂垣」がモノクロームで紹介されています。ともすれば、自信を失いかけていた「日本人」や「日本文化」に対する熱いまなざしを感じることができます。

当誌は「発刊される前に『建築と社会』という小冊子が発刊されており、これを引き継ぎさらに充実させたものと位置づけることができる」と当時の編集長小川正が創刊号の編集後記に述べています。なお、アートディレクションは若き田中一光が担当しています。

さて、『approach』が取り上げてきた記事はいくつかの категорияに分類することができます。

代表的な6つのカテゴリーは「Design & Art」「Nature & Environment」「Life & Education」「History & Heritage」「For the Future」「People」で、建築単体に絞らず広く社会や文化に関する事象をとりあげてきました。

『建築』(architecture) は人々の暮らしや歴史・文化・芸術などと切り離しては成り立たない。

『approach』編集の最大のポイントはここにあるのではないのでしょうか。その後、約50年間にわたり発行され、昨年の冬号(2012年12月)をもって200号を迎えることになりました。この機会に、その半世紀にわたる編集・発刊の全貌を振り返り、果たしてきた役割や影響を振り返りたいと考えています。また今回の展覧会を通して、企業活動が果たすべき役割や、可能性を考えるヒントになれば幸いです。

ギャラリーエークワッド 館長 川北 英

2013年4月5日(金) → 5月15日(水)

竹中工務店 大阪本店1Fロビー

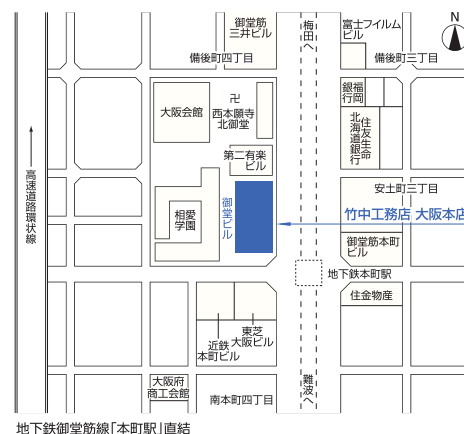
大阪市中央区本町 4-1-13

● 開館時間—9:00 → 17:30 ● 休館日—土・日・祝日 ● 入場無料



GALLERY A4

主催：株式会社 竹中工務店 企画：公益財団法人 ギャラリーエークワッド
協力：大日本印刷株式会社 株式会社コスモ・ピーアール 太田徹也デザイン室
お問い合わせ：ギャラリーエークワッド事務局 Tel.03-6660-6011 Fax.03-6660-6097



地下鉄御堂筋線「本町駅」直結